

潜りの聴講生

今日で、12月の各学校の授業を終えた。

今日の授業の後である学生が、「写真を一緒に撮ってもらえますか？」と近づいて来た。

未だかつてない声がけに驚いた。更に驚いたのは、「実は、潜りの学生です...」とのこと。話を聞けば、大学の学生で友人から「いい授業があるから聞かない？」と誘われたので聴講に来たとか。それも保育や福祉に関係のない経済学部生。

150人の学生相手の授業だけに、私には教壇からは誰が潜りか解るはずもなし。潜りの聴講記念？に写真を撮りたいとのこと。もちろん、友人と三人で写真に収まった。

この他大学生はともかくとして、私の授業に他大学の友人を誘った学生がいたことが、率直に講師冥利につき、嬉しい限りである。

また、毎時間の出欠がてらの提出の授業感想文の中に、数人の「先生、良いお年を！」の文字を見つけた時も、(^_^;)

今日の出来事とメッセージは、学生からの私への一足早い、クリスマスプレゼントかな。

さて、1月の授業再開では、心優しい学生に、お年玉として何をプレゼントしようかなあ……。やはり、学生が一番喜ぶのは、易しいテスト問題かなあ……。

(2003年12月12日記)